

手術室運営委員会

委員長 杉本 健太郎

手術室運営委員会の概要

手術室運営委員会は手術を安全かつ円滑に遂行し、手術の質と効率を高めることを目的として、毎月1回の予定で開催しています。

委員のメンバーは各診療科の責任者と看護師、臨床工学技士で構成されています。

2025 年の主な検討事項、手術室での実施事項

■3月

- ・2025年度の手術枠について、現在の手術枠から変更がないことを確認した。
- ・ROOM7、9の映像システムの更新内容について確認した。
- ・手術キットのコストダウンについて、第一段階品目の切り替えによるメリット金額と、第二段階の候補製品を確認した。
- ・構成メンバーについて、小坂委員長の退任および杉本委員長代行に委員長を委嘱することを確認した。

■5月

- ・OPELIOの更新にあたり、配信用端末はすべて標準仕様とし、レコーダーを内視鏡センター、血管造影室、IVR・CT室に追加することを確認した。
- ・ROOM1、4の映像システムの更新について、各部屋を使用する診療科に仕様を確認することとした。
- ・縫合糸の使用状況を確認し、各科でメーカーと打ち合わせし、サンプルを行うこととした。
- ・オペキットの切り替え検討にあたり、第2弾の対象品を使用する診療科は不潔見本を確認した。
- ・麻酔科より、BIS測定用脳波電極について安価な製品への切り替えを進めていることを報告した。

■8月

- ・オカレンスの管理について、医療安全管理システムに移行した後の提出状況を確認した。
- ・麻酔記録・術中看護記録システムの導入にあたり、各科の科長を中心メンバーとして手術オーダーワーキングを開催することを確認した。
- ・滅菌ガウンについて、レベル3の製品がリニューアルすること、オペの内容によりレベルを使い分けることを確認した。
- ・滅菌タオル、滅菌ブラシの使用を終了することを確認した。

これからも手術手技・機器および設備関連の進歩と安全に配慮し、更なる手術件数の増加を目指して、手術室関連の管理およびスタッフの配置・教育等に必要な検討を進めていきます。

引き続き関係各位のご協力を宜しくお願い致します。

